

12/15
2007年 第963号
(毎月5、15、25日発行)

敬告 協会 大阪府歯科保険医協会
 敬告 協会 大阪府歯科保険医協会
 敬告 協会 大阪府歯科保険医協会



財務省前での宣伝行動の様子=11月29日、東京霞ヶ関

国会内集會
・議員要請

広がるプラス改定要求

医療改善求める声 国会に

協会・保団連

協会・保団連の粘り強い国会要請や、医療改善反対の国民の意思が示された参院選結果を受け、中医師協では「さらなるマイナス改定を行う状況にない」とされ、自民党国会議員200人がプラス改定を求めて結集、患者団体からも診療報酬の引き上げを求める声が出るなど、診療報酬プラス改定を求める声が大きく広がっている。こうした状況のもと協会・保団連は、医療費総枠拡大・診療報酬引き上げ・自主共済の適用除外などを求めて11月29日、国会内集會・要請行動を行い約170人が参加した。協会からは、小山栄三・矢部あづさ両理事、古田光行・宮本辰雄両監事、山本敏克評議員が参加した。

矢部理事は、集會や財務省前宣伝で「連続マイナス改定に加え、膨大な文書提供など政府の医療費抑制政策により歯科医療は崩壊している。次の改定でマイナスになると歯科医は生きていけない」と訴えた。古田監事は「保険で

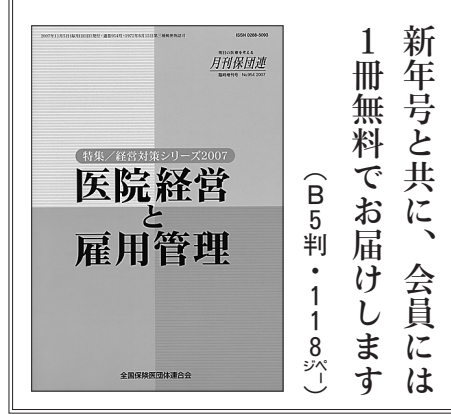
よい歯科医療の実現を求める」院長署名1957筆(開業医会員比57・1%)と患者署名5990

筆を携えて大阪・近畿選出衆議院議員へ要請し、会議員・国民の声とともに歯科の窮状を訴えた。院長署名は、地元選出国會議員・首相・財務大臣・厚労大臣・中医師協会長に提出。患者署名は、吉井英勝議員(共産)が3912筆、石井郁子議員(共産)が2078筆と、「自主共済の保険業法の適用除外を求める請願」署名13



集會でプラス改定を訴える矢部氏=11月29日、参議院会館内

スタッフが充分能力を発揮できる
魅力ある歯科医院の環境づくりを



森山財務副大臣(右)に要請書を手渡す小山氏(左)=11月29日、財務省内

厚労省では、矢部氏が「10・28歯科医療危機突破決起集會」で、財務省・厚労省・衆参国会議員へ要請したり、中央

本政府は日本列島のどこかに巨大油田でもあるかのように、国連軍が多国籍軍か、旧称十字軍にオ

0筆の紹介議員を引き受けた。集會は公明党を除く全政党・衆参合わせて35人の国会議員らが参加し、医療崩壊を食い止める、診療報酬を引き上げるとの決意が語られた。また薬害C型肝炎訴訟の原告やリハビリ診療報酬改定を考える会、全国腎臓病協議会、全国多発性硬化症友の会の患者団体代表らが参加し、連帯挨拶した。(今回の要請先)

馬弘毅議員、とかしきなおみ議員、中山泰秀議員、西野あきら議員、原田憲治議員、松浪健四郎議員、(共に自民)、長安豊議員、平野博文議員、藤村修議員(共に民主)、佐藤茂樹議員、谷口隆義議員、福

島豊議員(共に公明)、石井郁子議員、吉井英勝議員(共に共産)、辻元清美議員(社民)、西村眞悟議員(無所属)の各秘書。北側一雄議員(公明)には面談を断られた。(これまでに紹介議員を

引き受けていたいたいた国会議員) 竹本直一議員(衆・自民)、梅村聡議員(参・民主)、桜井充議員(参・民主)、石井郁子議員(衆・共産)、吉井英勝議員(衆・共産)、山下よしき議員(参・共産)

年末年始の業務についてのお知らせ
協会・協同組合の年末年始の業務、本紙の発行については、次のとおり。
【業務】 暦により、12月29日から1月6日まで休務、1月7日から業務開始となります。
【新聞発行】 12月25日付と1月5日付を合併して1月1日付『新年号』として発行。1月15日付から通常発行します。

08年診療報酬改定 ①

山上 紘志(協会副理事長・保団連理事)

全国保険医団体連合会(保団連、住江憲男会長)は2日、理事会を開き、医療改善を阻止する運動と結合した新点数対策を進めることを決めた。大阪歯科協会でも、3月23日の中央新点数説明会で改定内容と政策的問題を会員に説明する。本稿では診療報酬改定をめぐる、中医師協や財務省などの動向や、歯科医学会がまとめた、歯周病・義歯の2つのガイドラインなどについて2回にわたり紹介する。

中医師協は11月28日の総会で、「平成20年度診療報酬改定について」の意

本体引き上げの流れへ

協会・保団連 総枠拡大で首相・与党へ要請



支払側の「改定は医療における資源配分の歪みやムダの是正による範囲内で行うべき」と意見が分かれ、両論を併記した「意見書」になった。厚労省は診療報酬「本

自民党の社会保障制度調査会医療委員会と厚生労働部会は、4日の合同

医療を守り危機突破を図る緊急議員連盟」が呼びかけられ、「医師不足問題や勤務医の負担軽減、さらには救急医療、産科・小児科医療などの地域医療の諸課題に的確に対

改定を巡り、必要な医療費財源を確保する」との緊急提言が発表された。全国の保険医協会が署名を集めて、総理府・財務省・厚労省・衆参国会議員へ要請したり、中央

別々にセールのスやファッションが何教でも気にしないが、ライブハウスで前の方に席取って突然「赤鼻のトナカイ」を歌わされた時の格好悪さは今もトラウマとなっている。

「改定を行う状況にはない」と、医療側と支払側の意見が一致した。しかし、医療側の「地域医療を守るために診療報酬の大幅な引き上げの実現を行うべき」との意見と、

体部分」について、現状の水準維持か、小幅の増額をする方向で検討に入ったと朝日新聞は報じている。

改定幅をめぐる議論は、20日に予定されてい

会議で「プラス改定」を決議した。自民党の正式機関である医療委員会と厚生労働部会がプラス改定を決議したのは初めてである。

協会・保団連では来年度予算編成の論議に合わせ、与党や厚労大臣・財務大臣などへの要請を強めることになっている。

顔の赤らむ思いである。

歯界

世界史の興味は戦争の歴史と開いてなく一方大陸の原住民は絶滅に近い人口減になって終戦となったが、イスラム教徒とキリスト教徒はローマ対ユダヤ戦の後、千数百年間も勝った負けを交互に繰り返して現在も継続中である。